

5. 公共交通に対するニーズ

5.1 住民アンケート調査から見えるニーズ

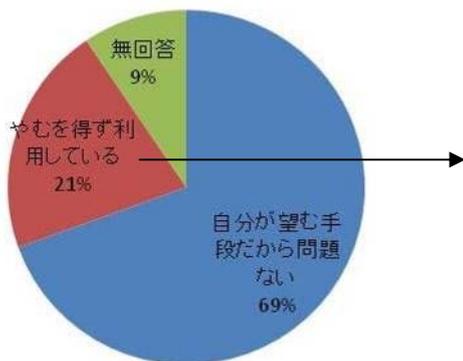
住民アンケートの実施概要

- ・調査対象者 50歳以上(H21年11月末現在)の魚津市民3,000人(外国人は除く)
- ・配布・回収数 配布数:3,000件 回収数:1,531件 回収率:51.0%

① 利用したいけど利用できない市民

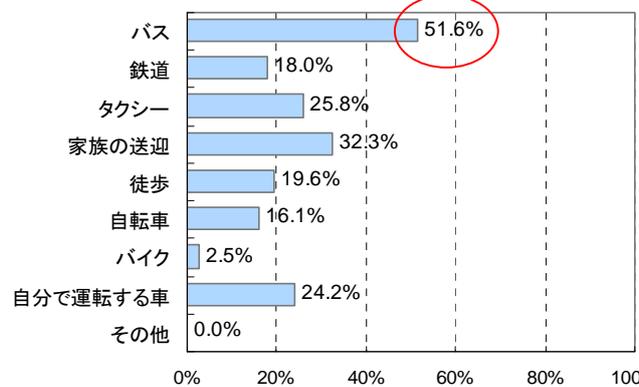
- ・現在利用する交通手段がやむを得ず利用しているものである市民は21%である。
- ・そのうち、本当に利用したい交通手段がバスである割合は51.6%と他に比べ高く、バスへの期待が伺える。

〔普段の交通手段について〕



サンプル全体 N=1,531

〔本当は利用したい交通手段〕



N=322

② バス利用者が感じる路線バスの不満な点

- ・各路線とも、「利用したい時間帯に運行していない」ことに不満を感じている。
- ・地铁バスでは「料金が低い」と感じる割合が市民バスに比べ多い。
- ・「車内の混雑」に不満を感じる利用者がいるのは、市街地巡回、経田・道下、松倉ルート。

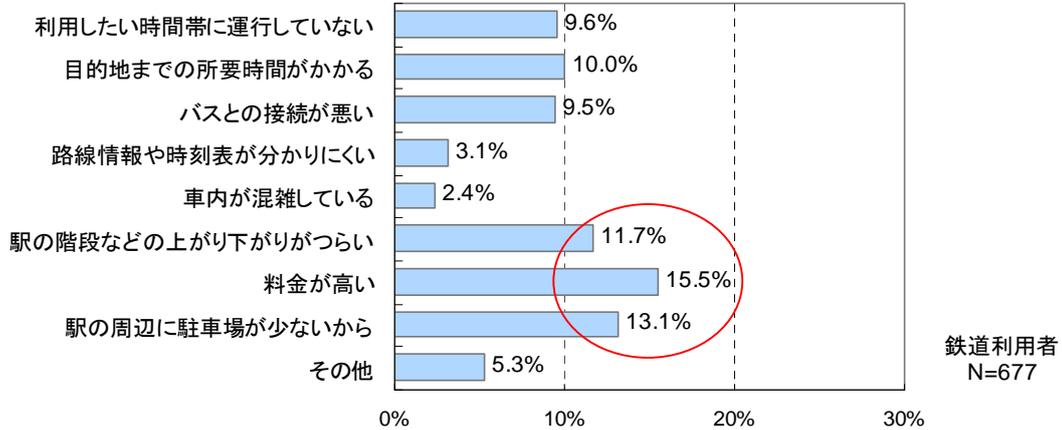
〔バス路線別利用者の不満な点〕

路線名		利用したい時間帯に運行していない	目的地まで所要時間がかかる	鉄道との接続が悪い	路線情報や時刻表が分かりにくい	車内が混雑している	バスの乗り降りがつらい	料金が低い
市民バス	市街地巡回ルート(N=148)	27%	23%	10%	13%	3%	3%	1%
	経田～道下ルート(N=40)	35%	15%	10%	33%	5%	10%	8%
	天神ルート(N=26)	38%	38%	8%	19%			12%
	上野方ルート(N=18)	39%	28%	17%	22%		6%	0%
	坪野ルート(N=9)	56%	56%	22%				
	松倉ルート(N=8)	63%	13%	38%	25%	13%	25%	
地铁バス	黒沢線(N=38)	64%	50%	21%	14%		14%	
	東蔵線(N=45)	32%	13%	8%	13%		16%	24%
	東蔵線(N=45)	38%	24%	22%	18%		11%	22%

③ 鉄道利用者が感じる鉄道の不満な点

・鉄道利用者の不満で最も多いのが料金に関する事で、次いで、駅周辺の駐車場不足・駅階段のバリアに関する事。

〔鉄道利用者が感じる鉄道の不満な点〕



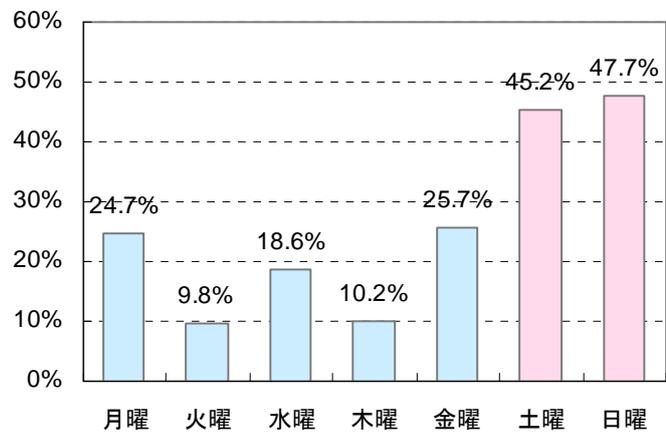
④ 運行してほしいバスの目的地 (非利用者も含む市民の意見)

・公共交通非利用者を含む市民(50歳以上)が要望するバスの目的地でもっとも多いのが「魚津駅」であり、次いで「労災病院」、「アピタ」。

順位	バスを運行してほしい目的地
第1位	魚津駅
第2位	労災病院
第3位	アピタ
第4位	サンプラザ
第5位	大阪屋

⑤ バスを運行してほしい曜日 (非利用者も含む市民の意見)

・希望する目的地を経由するバスの運行してほしい曜日で多かったのは「土曜・日曜」。



バス運行希望者 N=591

5.2 学生アンケート調査から見えるニーズ

高校生アンケートの実施概要

- 調査対象者は、以下に示す市内高校の2年生全員を対象にアンケートを実施
魚津高校(210件)、魚津工業高校(83件)、新川みどり野高校(39件)、
新川高校(117件) ※()内は回収数

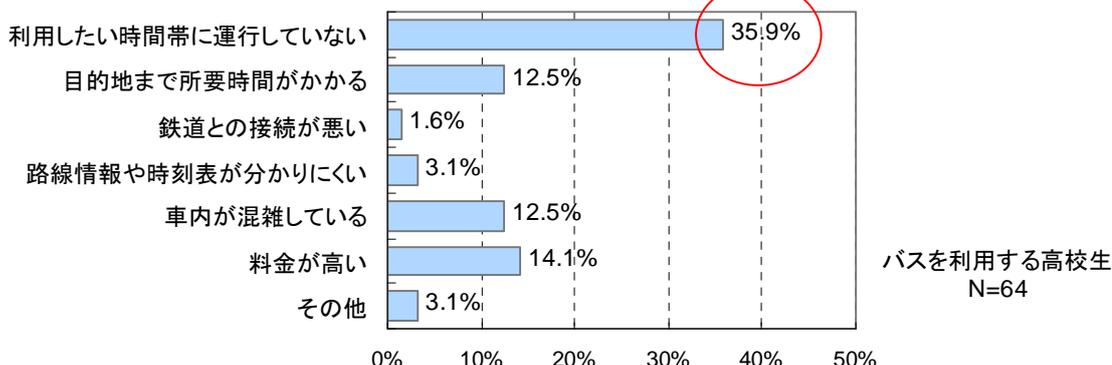
大学生アンケートの実施概要

- 調査対象は、北陸職業能力開発大学校の2年生全員を対象にアンケートを実施
- 回収数 180件

① バス利用者が感じる改善ニーズ

- 高校生のバス利用者が最も不満に感じるのは、「利用したい時間帯に運行していない」ことである。

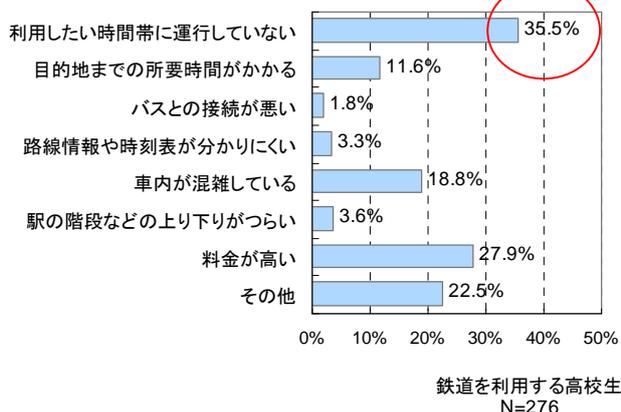
●高校生のバス利用者



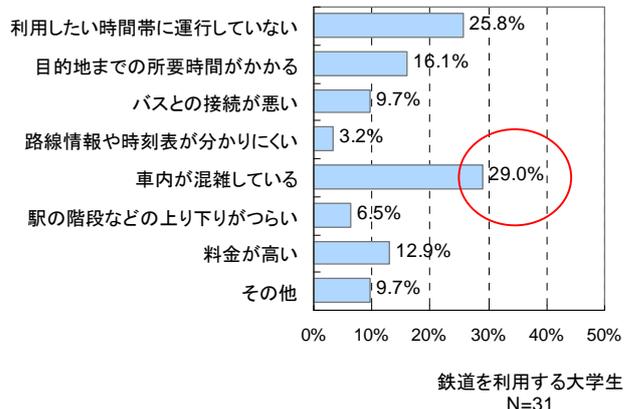
② 鉄道利用者が感じる改善ニーズ

- 高校生の鉄道利用者の不満でもっとも多いのが、「利用したい時間帯に運行していない」。
- 大学の鉄道利用者では、「車内が混雑」に対する不満が最も多い。

●高校生の鉄道利用者



●大学の鉄道利用者



5.3 企業・施設アンケート調査から見えるニーズ

企業・施設アンケートの実施概要

- ・魚津市内の主要施設 12 箇所(病院、商業施設など)、企業 15 社を対象にアンケートを実施
- ・回収数 主要施設 2 箇所、企業 9 社

■バスに対する主な意見・要望

- ・施設へのバス運行を要望し、バス情報案内サービスに関して出来る限り協力したいという病院が 1 箇所。
- ・企業については、一部の企業経由のバス運行や企業から分かりやすい路線情報がほしいなどの要望があったが、全体的にバスに対する要望は少なかった。これは、終業時間が不規則であることにより、従業員の利用が難しいと考えている企業が多いためと考えられる。

病院 A

利用料金を安くしてほしい。分かりやすい路線情報がほしい。

病院 B

施設を経由するバスを運行してほしい。バス運行した場合、施設内におけるバス情報案内サービスを実施するなど出来るだけ協力したい。

企業 C

終業時間が不規則なため、利用するかどうかは個人の判断に任せている。バスに対する要望は特にない。

企業 D

電車などの公共交通を利用している人は少ない。時代(ライフスタイル)に合わないように思える。

企業 E

駐車場が不足しており、困っている。

企業 F

駐車場が不足していないが、企業を経由するバスを運行してほしい。また分かりやすい路線情報がほしい。

5.4 公共交通利用者ヒアリング調査から見えるニーズ

公共交通利用者ヒアリングの実施概要

- ・ J R 魚津駅前、電鉄魚津駅前バスおよび鉄道利用者に対して、ヒアリング調査を実施
- ・ 回収数 J R 魚津駅前 161 件、電鉄魚津駅前 49 件

調査風景写真(J R 魚津駅前)



調査風景写真(電鉄魚津駅前)



① 市民バスに対する主な意見・要望

- ・ 運行本数、運行時間帯の変更に対する要望が最も多く、次いで「市民バスの運行に対する感謝」に関する利用者の意見が多かった。

意見内容

・ 運行本数の増便、運行時間帯の変更の要望	10 件
・ 運行に対する感謝	9 件
・ バス停新設の要望	3 件
・ 鉄道との接続に関する要望	2 件
・ バス停上屋整備の要望	2 件
・ ノンステップバス導入の要望	2 件

② 鉄道に対する主な意見・要望

- ・ J R に関しては、運行本数、運行時間帯の変更に関する要望が最も多く、富山地方鉄道については、電鉄魚津駅舎のバリアフリー化に対する要望が多かった。

意見内訳

(1) J R に関する内容

・ 運行本数の増便、運行時間帯の変更の要望	12 件
・ 料金の低額化	3 件

(2) 富山地方鉄道に関する内容

・ 電鉄魚津駅舎のバリアフリー化 (エレベーターの設置等)	13 件
-------------------------------	------

5.5 住民グループインタビュー調査から見えるニーズ

グループインタビュー(魚津市の公共交通を考える懇談会)の実施概要

- ・参加者：各地域の普段バスを利用している一般の方 11名
- ・「どのようにしたらバスは利用されるか」をテーマにフリートーク

第1部の様子



第2部の様子



■ 主な意見・要望

- ・他の調査ではあまり意見が出なかった「マナーに関する意見」があった。

意見内容

(1) 経路運行時間帯

- ・松倉ルートのアピタ経由にしてほしい。
- ・市民バス相互の接続性を高めて欲しい。サンプラザ前で他の市民バスに乗り換えアピタに行きたい。
- ・労災病院に8:45くらいに到着してもらえる労災病院バスの便があると良い。
- ・経田福祉センターに行く場合、市民バスの経田・道下ルートは循環型なので、帰りはわざわざ遠回りしないといけない。

(2) 車両

- ・市街地巡回ルートの車両は、高齢者にとって厳しい車両。後部の車いす用の席によって、座席が少ない。
- ・経田・道下ルートの9:50の便は満員。

(3) 料金

- ・市民バスは定額料金なのだから、前払いにしたらどうか？
- ・地域ごとに負担を考えるのではなく、市全体で負担方法を考えるべき。
- ・高齢者割引の充実をお願いしたい。

(4) 情報提供

- ・バス停の時刻表の文字が小さく見えない。
- ・利用方法をもっとわかりやすく。
- ・JR魚津駅前にバス案内所がほしい。

(5) マナー

- ・中学生が高齢者に席を譲らない。
- ・NPO関係者が、利用者の勘違いによるクレームで大変だったことがあったと聞いたことがある。
- ・運転手が無愛想。

(6) その他

- ・市民バスのおかげで、大変助かっている。本当にありがたい。